

大淀病院跡地及び近鉄下市口駅周辺地区 まちづくりワークショップの概要

今回、大淀病院跡地及び近鉄下市口駅周辺地区のまちづくりについて協議するため、協議に参加して頂いた23名の町民とまちづくり検討委員会にもご参加頂いている近畿大学 脇田教授の都市計画研究室の学生14名でまちあるきとワークショップを開催いたしました。

はじめに、大淀町総務部 福西より開会のあいさつと脇田教授よりまちあるきの趣旨説明をして頂き、6つの班に分かれて、大淀病院跡地及び近鉄下市口駅周辺地区のまちあるきを行いました。普段見慣れている町を若い世代の学生と共に意見交換をしながら歩くことで改めて大淀町の魅力と課題を見つけて頂きました。

次に大淀町役場で、まちあるきで見つけた、魅力と課題について班で話し合ってもらい、魅力を活かすまたは、課題を解決するための提案を考えて頂きました。最初は苦勞されている様子でしたが、話し合いが進むにつれてどの班も議論が活発になっていきました。

最後に話し合った結果を各班の町民の代表者が発表し、意見を参加者全体で共有しました。そして、脇田教授から総括を頂き、第1回大淀病院跡地及び近鉄下市口駅周辺地区まちづくりワークショップは閉会しました。

- 日時 2016年9月19日(月・祝)
16時00分～19時30分
- 参加者 町民23名+学生14名
大淀町役場職員 株式会社 長大
- 場所 大淀病院跡地及び下市口駅周辺エリア
大淀町役場 2階 201・202 会議室



当日の流れ・プログラム

1 開会



大淀町役場総務部 福西と近畿大学の脇田教授による開会の挨拶が行われました。

2 まちあるき



各班に分かれ、吉野川や商店街、下市口駅など、普段は見慣れている町の魅力や課題を発見しました。

3 魅力・課題・提案の検討



個人で発見した魅力や課題、またそれに対する提案を共有し、他の班員の意見を聞くことで、新たな気づきになりました。

4 まちづくり方針の検討



これからのまちづくり方向性となる3つの枠組みを班ごとに意見を交えながら検討しました。

5 発表



班ごとに考え出されたまちづくりの方針を参加者全体で共有し、様々な人の町に対する思いを知り、新たな学びになりました。

6 総括・閉会



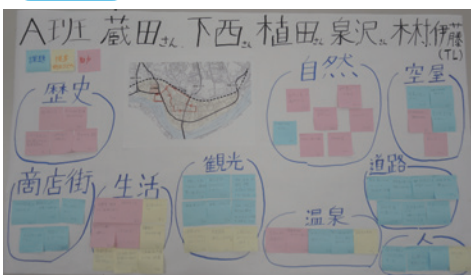
最後に、脇田教授からの総括をしていただき、今回のワークショップが閉会しました。

各グループのまとめ

※TLとは、各テーブルで司会進行を行った「テーブル・リーダー」を略したものです

A班

蔵田さん、下西さん、植田さん
泉沢さん、木村さん、伊藤さん (TL※)



地区の魅力

- ・住民同士の仲がいい
- ・昭和を感じる風情がある
- ・川がきれい
- ・大きい住宅がなく見やすい景色
- ・地蔵や祠など昔ながらの景色がみられる

課題

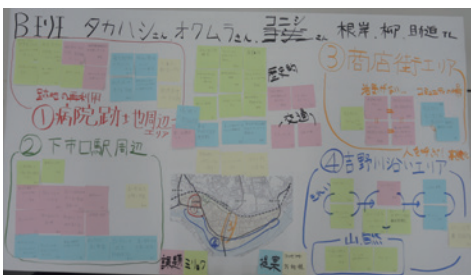
- ・休憩できるスペースが少ない
- ・川で遊んでいる人が少ない
- ・徒歩圏内にスーパーがない
- ・商店街に活気がない
- ・子どもが少ない
- ・駅前に活気がない

提案

- ・川辺にサイクルロードなどの吉野川を活かした施設の設置
- ・高齢者が住みやすいように公共施設の充実
- ・商店街に起業しやすいスペースの設置

B班

高橋さん、奥村さん、小西さん
根岸さん、柳さん、助迫さん (TL)



地区の魅力

- ・路地空間の雰囲気がいい
- ・目の前に川がある風景
- ・駅周辺の自然がいい
- ・昔ながらの建物を改めると魅力的
- ・病院跡地がある

課題

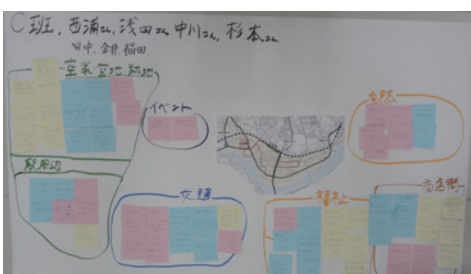
- ・駅から病院跡地への道が狭い
- ・駅前が寂しい
- ・子育て世代に対する魅力的なポイントが少ない
- ・下市口駅の利用が少ない
- ・駅ロータリーが小さい

提案

- ・駅の近くに地域の特産品を売るお店があればいい
- ・商店街を歩行者天国にして縁日などのイベントの開催
- ・大淀の文化、歴史のPRを強化

C班

西浦さん、浅田さん、中川さん、杉本さん、
金井さん、福田さん、田中さん (TL)



地区の魅力

- ・地域固有のお店が多い
- ・梨・お茶・鮎などのブランド化できる特産品がある
- ・町屋などの歴史的建造物がある
- ・天川、洞川、吉野山、飛鳥に1時間かからず行ける

課題

- ・商店街が暗い
- ・バスの本数が少ない
- ・川が有効利用できていない
- ・宿泊施設が少ない
- ・女性が集まるおしゃれな施設がない

提案

- ・子どもと女性が集まるおしゃれな町へ
- ・天川、飛鳥などの観光地に1時間で行けるため宿泊施設をつくる
- ・吉野川を利用したイベントの開催

D班

竹中さん、大藏さん、中嶋さん
宮本さん、大塚さん、日下部さん (TL)



地区の魅力

- ・昔ながらのお店が残っている
- ・駅前に交番があり治安が良い
- ・豊かな自然
- ・見晴らしがよい景色
- ・特産を使用している老舗がある

課題

- ・街灯が少なく道が暗い
- ・長屋などの建物の老朽化
- ・ごはん屋さんが少ない
- ・空き家、空地が多い
- ・公園がない
- ・歩車分離がなく危険な道がある

提案

- ・商店街に高校生を取り込むために立ち寄れる店や娯楽施設の設置
- ・吉野川でカヌー体験教室などを行い観光客を呼ぶ
- ・スーパー銭湯を作り多世代の交流できる場をつくる

E班

林さん、梅本さん、森さん
橋本さん、松本さん (TL)



地区の魅力

- ・鈴ヶ森のランドスケープが綺麗
- ・寺社が点在している
- ・古い家屋や建造物が残っている
- ・コミュニティ間の繋がりが強い
- ・駅が近くて便利
- ・吉野川の景観が魅力

課題

- ・道路の街灯の数が少ない
- ・店が少なく買い物が大変
- ・駅周辺がさびれている
- ・若い人が少なく活気がない
- ・職場がない

提案

- ・伊勢街道沿いを中心とした統一感のあるイメージ演出 (竹、すだれ等で)
- ・病院跡地にいつでも通える診療所の設置
- ・駅や商店街でBGMをながす (クラシックなど)

F班

金沢さん、俵本さん、岡谷さん、岡本さん
大久保さん、池内さん、笹谷さん (TL)



地区の魅力

- ・吉野川の川辺が美しい
- ・蔵、酒蔵等の古い建物がある
- ・駅前の広い駐車場は活用の可能性がある
- ・電車から見える風景
- ・大きな観光地に近い

課題

- ・観光客が素通りする
- ・空地がある
- ・川辺におりる道が少ない
- ・路線バスの本数が減っている
- ・商店街の店がほとんど閉まっている

提案

- ・他の観光地の中継地点としての整備
- ・川沿いにもみじと桜を植える
- ・電車から途中下車したくなるまちづくり、駅づくり

今後の方針

ワークショップの最後に各班ごとに今後のまちづくりの方針を3つ考えて頂きました。

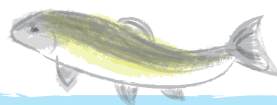
A 班

- 1 公共施設が充実した町
- 2 商業で若者がにぎわう町
- 3 高齢者が住みやすい町



D 班

- 1 若い人が住めるまち
- 2 自然、川を活用したまち
- 3 多世代が集える場所



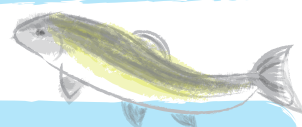
B 班

- 1 吉野郡の拠点になるまち
- 2 吉野川を活かした地域開発
- 3 道の整備・動きやすいまち



E 班

- 1 お年寄り、住民が住みやすいまち
- 2 地域資源を活かした統一感のあるまち
- 3 地域の顔になる駅の開発



C 班

- 1 世代を超えた集いができるまち
- 2 観光の拠点となるまち
- 3 わくわくできる商店街

F 班

- 1 若者が住みやすいまちへ
- 2 商店街から始める活性化
- 3 観光資源の再発見、再開発

近畿大学脇田教授による

全体の総括



今回のワークショップでは、地域の魅力・課題を共有するとともに、まちづくりの提案を考えながら、今後の下市口駅周辺のまちづくりの方針を検討しました。自然・歴史・人のつながりといった魅力が挙げられる一方で、商店街がさびしい、住民の集まる場所が少ない、吉野川が十分活用できていない、駅前から大淀病院跡地までのアクセスが悪いといった課題が指摘されました。その後の検討では若者からお年寄りまでが住みやすいまち、地域資源を活かした観光拠点となるまちといった方向性が確認されました。今後もワークショップの開催を通して、住民の皆さんの力でまちづくりの機運を高めていってほしいと思います。